

収納用建具

開き扉

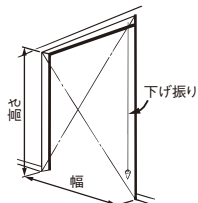
ベリティス	
商品	P.794
⑩オーダー	P.862
⑩オーダー発注書	P.873

施工のポイント (寸法単位: mm)

枠の取り付け施工手順

■施工前の準備

- 開口部の幅・高さ・奥行き各内寸法の精度を十分に確保する。
- 柱または縦枠の垂直・床面・上下枠の水平をそれぞれ下げ振り・水準器でよく確認する。



3方枠納まりの場合 (下枠なし)

縦枠のカットが必要です。

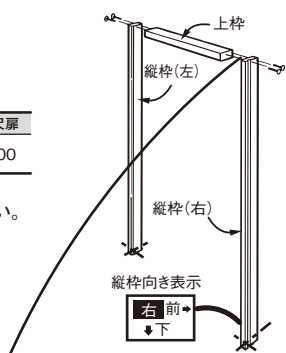
①縦枠のカット

縦枠の下部を12mm (伸び寸) カットする。

	8尺扉	7尺扉	6尺扉	4尺扉	3尺扉
カット後の縦枠長さ (mm)	2350	2035	1800	1200	800

- 注**
- 必ず縦枠の伸び寸をカットしてください。(下戸当たりが動作しなくなります。)
 - 縦枠には上下左右の方向性、上枠には前後の方向性があります。

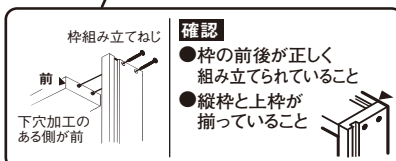
※⑩オーダー (特注) にてサイズ指定された場合は、カットは不要です。



②枠の組み立て

枠組み立てねじで組み立てる。

- 注**
- 上枠には前後があります。



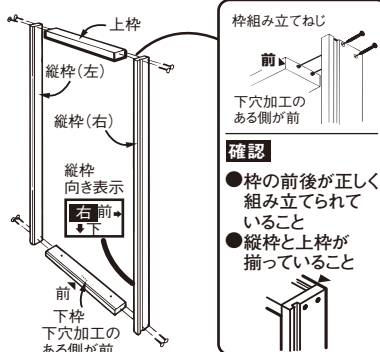
4方枠納まりの場合 (下枠あり)

縦枠のカットは不要です。

②枠の組み立て

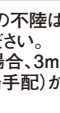
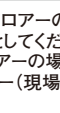
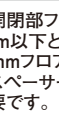
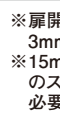
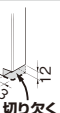
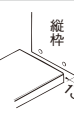
枠組み立てねじで組み立てる。

- 注**
- 縦枠はカットしないでください。(扉が吊り込めなくなります。)
 - 縦枠には上下左右の方向性、上下枠には前後の方向性があります。



下枠を床に埋め込む場合

縦枠を右記の寸法で切り欠く。



※扉開閉部フロアの不陸は3mm以下としてください。

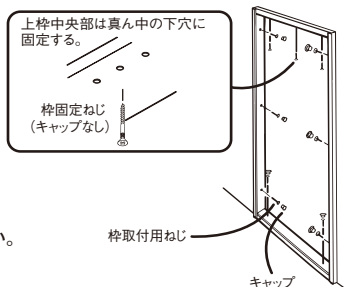
※15mmフロアの場合、3mmのスペーサー (現場手配) が必要です。

3方枠・4方枠共通

③枠の取り付け

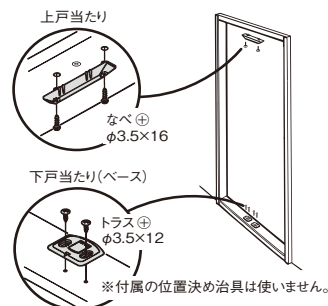
縦枠・上下枠を枠固定ねじで固定する。

- 注**
- 縦枠・上下枠の垂直・水平を必ず水準器で確認してください。
 - 枠の前後を間違えないでください。



④戸当たりの取り付け

上下枠に戸当たりを取り付ける。

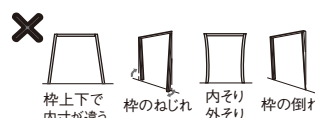


- 注**
- 3方枠 (下枠なし) の場合は下枠はありません。

- 注**
- ハの字、縦横のねじれのないよう、必ず水平・垂直に取り付けてください。

水平・垂直に取り付けしないと、がたつきの原因となります。必ず水準器で確認してください。

- 枠の前後を間違えないでください。



扉の取り付け施工手順

①蝶番台座の取り付け

蝶番台座には前後があるので、注意して取り付けに不備があると、扉が落下して、けがをするおそれがあります。

- 注**
- 必ず縦枠と台座・扉と蝶番の間に隙間がないことを確認する
 - 取り付けに不備があると、扉が落下して、けがをするおそれがあります。
 - 蝶番が取り付けいた状態で、再度、扉と蝶番の間に隙間がないことを確認する
 - 取り付けに不備があると、扉が落下して、けがをするおそれがあります。

- ①縦枠の下穴に蝶番台座をはめ込む。 ②ねじを締めて固定する。(2か所)



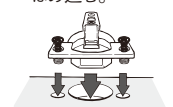
※矢印の方向を枠の前側に向けて台座を取り付けてください。

- 注**
- 蝶番台座と縦枠との隙間がないことを確認してください。

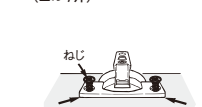
②蝶番の取り付け

- 注**
- 取り付け前に、下穴の中に木くずやごみが入っていないか確認してください。

- ①扉の下穴に蝶番をはめ込む。



- ②ねじを締めて固定する。(2か所)



- 注**
- たたき込むなど、無理に下穴に押込まないでください。

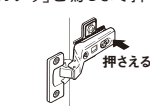
- 注**
- 扉と蝶番との間に隙間がないことを確認してください。

③扉の吊り込み

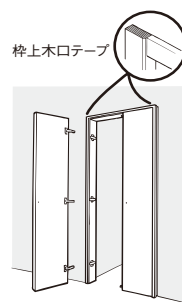
- ①蝶番のピンを蝶番台座の溝に入れる。



- ②「ガチッ」と鳴るまで押さえる。



- 注**
- 取り付け後、必ず2〜3回開閉し、蝶番が確実に固定されているかを確認してください。



- 注**
- 扉を蝶番台座に確実に取り付ける
 - 取り付けに不備があると、扉が落下して、けがをするおそれがあります。



施工のポイント (寸法単位: mm)

部品の取り付け

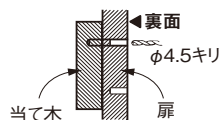
④ 取っ手の取り付け

注 取っ手の種類・取付位置により貫通させる穴が異なります。
(誤った穴を貫通すると扉が使用できなくなります。)

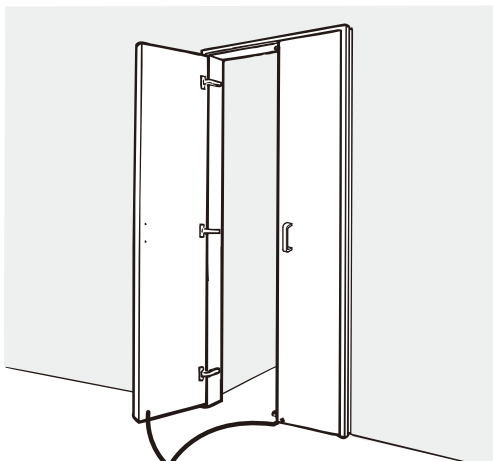
取っ手 種類	ハンドル取っ手 貫通穴 2穴
8尺扉 7尺扉 6尺扉	トラス⊕ M4×33
4尺扉 3尺扉	上部の場合 トラス⊕ M4×33
	下部の場合 トラス⊕ M4×33

- ① 取っ手の種類を確認する。
- ② 4尺扉・3尺扉の場合、取っ手の取付位置を確認する。
- ③ 取っ手下穴を上表で示した取付ねじの本数分のみ貫通させ(●部)、取っ手を取り付ける。

取っ手穴貫通のしかた
※扉表面に当て木をして、
バリ発生を防いでください。

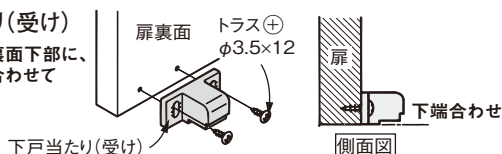


⑤ 下戸当たり(受け)の取り付け



下戸当たり(受け)

左右の扉の裏面下部に、
扉の下端に合わせて
取り付ける。



正しい納まり



※受けとベースが当たった場合のみ、
上へ調整する



扉の調整

扉の状態	調整方法
例1	① Aを緩めると扉が矢印の方向に動く。
例2	② Bを緩めると蝶番本体部を前後に移動させる。 ※調整後、必ずしっかり締めてください。
例3	① 扉1枚の全てのCを緩める。 ② 扉を上下に動かして高さを合わせる。 ③ すべてのCを締め直す。

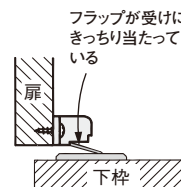
注 扉の調整後必ず2~3回開閉し、扉が確実に閉まっていることを確認してください。

戸当たりの調整

現象	原因	調整方法
扉が完全に閉まらない	受けとベースが当たっている(受けが下すぎる)	取付ねじを緩めて、受けを上へ調整してください
	フラップが上がっている(フラップの下にごみが詰まっている)	ごみを取り除いてください
	フラップが受けにきっちり当たっている	取り除く
下部戸当たりがきかない	磁石がきかない(フラップが上がらない)	戸当たりが扉下端に合っているか、確認してください
	フラップが上がらない	扉下端に合わせる
	ベースが奥すぎる	取付ねじを緩めて、ベースを前に調整してください

正しい納まり

右表を参考に下図の状態になるよう調整してください。



内装ドア

開き戸・引戸

折れ戸

戸横ドア・戸横引戸

幅広上吊り引戸

自動ドア

しきり窓

室内窓

収納用
建具

折れ戸

3枚連動引戸

開き扉

収納用
内部パーツ玄関用
収納

クロークボックス

エントランスパーツ

コンポリア

造作部材・
腰壁部材

スリット格子

窓枠セット
ジャストカット
オーダーインテリア
カウンター階段・
手すり

防音建材

室内物干し
ユニット床下収納
ユニット

点検口

はしご
ユニット補修用
部材